

競 技 注 意 事 項

- 1 この大会は、2020年日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の規定により審判する。
- 2 この大会では、WA 規則 143 条 (TR5:シューズ) を適用しない。「規定外シューズ」を使用する場合は「規定外シューズ使用届」に必要事項を記入して、1次招集終了時刻までに招集所に提出し、シューズの確認を受けること。
- 3 招集について
 - (1) 招集場は、本部ダッグアウトの上段に設ける。
 - (2) 種目別の招集開始および完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。
 - (3) 招集の手順
 - ① 1次招集終了時刻までに招集所に掲示するエントリーリストに○印をつける。
その際、トラック競技(リレーを除く)のうち、800mまでの決勝種目では別ナンバーを、1500m予選では別腰ナンバーを、1500m以上の決勝種目では別ナンバーと別腰ナンバーを受け取ること。
 - ② 最終招集時刻にトラック競技(リレーを除く)は各種目のスタート付近、フィールド競技は各種目の待機場所において点呼を行う。リレー競技の最終招集は本部ダッグアウトの上段で行う。その際、アスリートビブス(ナンバーカード)、スパイク等の点検を受けること。
 - ③ 点呼の代理は認めない。但し、同一時刻に2種目以上出場する者は、必ず事前(第1種目の1次招集終了時刻まで)に競技者係に申し出て許可を得ること。その際、招集に来ることができない種目の点呼(アスリートビブス、腰ナンバーカード、スパイク等の点検)を受けておくこと。
 - ④ 最終招集に遅れた競技者は、棄権と見なす。
- 4 練習については、補助競技場が付設されていないので、競技に支障をきたさない範囲で競技場内での練習を認める。但し、投てき練習は一切認めない。
- 5 スターティングブロックを含め、用具については競技場備え付けのものを使用する。
但し、ハンマー・やりは数が少ないので、各校より持ち寄るものとし、その用具については、競技開始時刻の1時間前に、本部横で検査を行う。
- 6 レーン順と試技順は、プログラムの各自のナンバーの前に記載の番号順とする。
- 7 決勝の組合せは、すべて番組編成員が公平に抽選し、招集場に掲示する。
- 8 リレーのオーダーは、招集場で競技者係から用紙を受取り、オーダー他必要事項を正しく記入し、最終招集時刻の1時間前までに競技者係に提出する。
- 9 バーの上げ方は、次のとおりとする。

走高跳	男子	練習(1m20)	試技 1m25 ~ <以降 1m75 までは 5cm きざみ>
			1m78・1m81 ~ <以降 3cm きざみ>
	女子	練習(1m00)	試技 1m05 ~ <以降 1m45 までは 5cm きざみ>
			1m48・1m51 ~ <以降 3cm きざみ>
棒高跳	男子女子		試技 2m00 ~ <以降 10cm きざみ>

順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。
- 10 競技場で使用するスパイクピンの長さは9mm以下の全天候型ピンを使用すること。但し、やり投と走高跳は12mm以下とする。先端の尖ったニードルピン等は走路を傷めるため禁止する。